

越佐路ところどころ



豊かな自然に囲まれた歴史あふれる城下町

— 新発田市 —

新発田市はこんなところ

新発田市は、新潟県北部に位置し、白砂青松と称される美しい海と東部にそびえたつ山々に囲まれた自然豊かなまちです。江戸時代には十万石の城下町として栄え、随所にその名残を見ることができます。

〈新発田市の風景〉

新発田城

本丸表門と旧二の丸隅櫓は当時から現存する遺構で、国の重要文化財に指定されています。三階櫓の丁字型の屋根には3匹のしゃちほこが鎮座しており、全国唯一のしつらえです。日本百名城にも選ばれています。



新発田城（三階櫓）

加治川桜堤

かつて日本一とも呼ばれた加治川桜堤は、洪水被害に遭い一度失われましたが、平成元年に再度植樹されました。約14.5kmに咲き揃う2,000本余の桜並木は圧巻です。



加治川桜堤

〈特産品〉

アスパラガス

新潟県一の出荷量を誇る新発田のアスパラガスは、土づくりからこだわって栽培しており、「太い、甘い、柔らかい」が売りです。旬である5月には、「食のアスパラ横丁、味めぐり」という春の恒例イベントが開催され、市内の飲食店等で新発田産アスパラガスを使った様々なメニューを味わうことができます。



新発田産アスパラガスとアスパラくん

〈観光〉

城下町新発田まつり

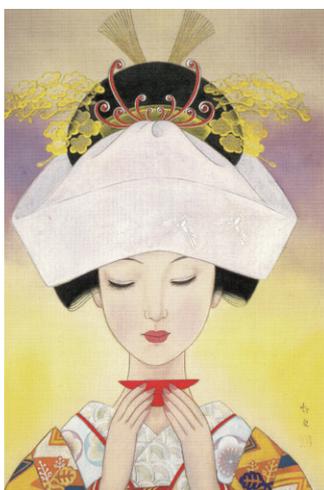
8月下旬に開催され、金魚台輪の練り歩きやパレード等様々な行事が行われます。最終日の「帰り台輪」では、6つの台輪が町中一堂に会し、曳き手の男衆が伝統の木遣りと台輪を激しく揺さぶるあおりを披露します。



新発田台輪（帰り台輪）

ふきやこうじ 落谷虹児記念館

大正期に活躍した挿絵画家・落谷虹児の作品を展示している記念館です。「大正ロマン」の先駆けである詩人・竹久夢二に見出されデビューしたのち、フランスのコンクールに入選するなど、一流画家への階段を駆け上がりました。



落谷虹児の作品「花嫁人形」

市島邸

市島家は、溝口氏の新発田移封に随従し、福島潟の開拓等により北越屈指の豪農となりました。明治初期の住宅建築は簡素でありながら優雅な作風で、8千坪に及ぶ広大な庭園では美しい紅葉を見ることができます。



市島邸

月岡温泉

全国でもトップクラスの硫黄含有量を誇り、弱アルカリ性を呈する恵まれた泉質は湯ざわりが柔らかくお肌に良いとされています。

温泉街には新潟ならではの特別なお店が続々とオープンしており、無料足湯施設やフォトスポットなど観光整備を進めています。



あしゆ湯足美（ゆたび）



月明かりの庭